

「入国管理局が目指す2020年」

～東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、「2000万人以上の訪日外国人旅行者を歓迎する安全・安心な社会」を実現～

【課題1】水際対策の強化

- テロリスト、不法滞在者・偽装滞在者等出入国管理上リスクの高い者（ハイリスク者）の入国の未然防止



【課題2】観光立国の推進

- 2000万人以上の訪日外国人旅行者の円滑かつ迅速な審査を実施



【課題3】国内の安心の確保

- 安心してオリンピック等を楽しめるよう国内の安全を確保するため、不法滞在者・偽装滞在者に厳格に対応



出入国管理インテリジェンス・センターの業務



情報収集

- ハイリスク者等に係る国内外関係機関からの情報収集の実施
- 国内外関係機関との情報共有の枠組みを構築し、情報収集を推進

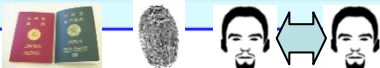
情報分析

- 保有情報を総合的に分析・リスク評価し、ハイリスク者等の特定又は類型化を図り、地方入国管理官署に情報提供
 - ・水際対策
 - ⇒PNR(乗客予約記録)を含む旅客に係る情報を分析し、ハイリスク者の特徴(渡航経路、旅行代理店等)を類型化等
 - ・不法滞在・偽装滞在対策
 - ⇒保有個人情報・所属機関情報を分析し、ハイリスク者の特徴(在留形態、就労先等)を類型化等
 - ・在留審査の合理化対策
 - ⇒保有個人情報・所属機関情報を分析し、出入国管理上のリスクの低い者の特徴(在留形態、就労先等)を類型化



鑑識

- 偽変造旅券等文書、指紋及び顔画像に係る鑑識の実施についての企画立案等
 - ・偽変造旅券等文書の傾向、偽装指紋の手口に係る情報収集
 - ・文書、指紋及び顔画像鑑識に係る最新動向の収集等



オリンピック・パラリンピックに向け期待される効果

課題への対応

水際対策の強化

- 情報分析により、リスクの高い者の特徴を類型化し、これに該当する者に厳格に対応
 - 偽変造旅券、偽装指紋行使者の発見、摘発等
 - 顔画像照合によるテロリスト等の発見、摘発等
- ⇒ハイリスク者の入国の未然防止



観光立国の推進

- 情報分析により、出入国管理上のリスクの低い者の特徴を類型化し、これに該当する者の円滑かつ迅速な審査を実施
- ⇒最長審査待ち時間の短縮



国内の安心の確保

- 確度の高い情報(分析結果)を基に摘発、在留資格取消し等を実施
 - 出入国管理上のリスクの低い者に対する在留審査の簡素化を推進
- ⇒不法滞在者・偽装滞在者を削減し、外国人と共生できる社会の実現に寄与



2020年までのインテリジェンス・センターの目標

- ✓ 入国・在留する外国人の増加に対し、情報を活用することにより合理的かつ的確な出入国管理を実施
- ✓ 「2000万人以上の訪日外国人旅行者を歓迎する安全・安心な社会」を実現し、外国人と共生できる社会の実現に寄与